

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに第77期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は、前期に引き続き当社グループの再生を目指し、グループ全社一丸となり、業績の回復に取り組んでまいりました。業績につきましては、国内事業の建て直しのために進めたプラズマディスプレイ市場から液晶ディスプレイ市場への事業転換が当初計画より遅れたことに加え、原材料価格が原油価格高騰の影響を受けたことなどにより、計画を下回る結果となりました。

株主の皆様には誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

しかしながら、当社グループが注力した液晶ディスプレイ市場向けの各種製品は、国内外で高い評価を得て、着実に成長を続けております。液晶ディスプレイはパソコンのディスプレイに加え、大型液晶テレビなどへ需要がさらに拡大するものと予想されており、このフラットパネルディスプレイ分野への取り組みを今後も強化してまいります。

また、このフラットパネルディスプレイ分野に加え、携帯電話を中心としたモバイル機器分野、インテリジェント化により電子部品の搭載が進む車載分野、エレクトロニクスのパワー分野である電源製品と電池へ注力してまいります。

当社グループは、これら4つの分野に対し、永年培ってきた技術と最先端技術を活用するとともに、国内外の業界トップのお客さまとの連携を強化し、市場ニーズに

合った製品の開発を進めてまいります。

今年度の市場環境は、携帯電話、パソコン、自動車関連市場などが伸長するとともに、薄型テレビの需要がさらに拡大し、これらの市場拡大を背景に電子部品市場は安定的な成長を続けるものと予想しています。当社グループは期初においては、これまでの不採算製品の整理等が残り厳しい状況ですが、液晶関連製品が大きく伸長するとともに、上半期中ごろよりアルカリ乾電池が需要期に入ること、さらに育成を続けてきたモバイル機器向け製品の売上増などにより、当社グループ全体で成長軌道に乗るものと考えております。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役社長 杉本俊春